

第13回

ECOTOURISM AWARD 2017

エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！
日本のエコツアーリズムの担い手たち



エコツアーリズム大賞概要 ————— 1

■ 審査委員長講評

「第13回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて — 1

大賞受賞者の紹介 ————— 3

優秀賞受賞者の紹介 ————— 4

特別賞受賞者の紹介 ————— 6

応募状況 ————— 9

主催 環境省



NPO 法人日本エコツアーリズム協会



エコツーリズム大賞の概要

エコツーリズム大賞とは

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上および情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とし、平成17年から行われています。

応募対象

エコツーリズムに継続的に取り組んでいる事業者、団体、自治体などを対象とします。

(例: ツアー事業者、宿泊事業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、教育機関、学生団体、地方公共団体など)

過去の大賞受賞団体

- | | | | |
|-----|-------------------------------|------|-------------------------------|
| 第1回 | ピッキオ(長野県) | 第7回 | 特定非営利活動法人
信越トレイルクラブ(長野県) |
| 第2回 | ホールアース自然学校(静岡県) | 第8回 | 紀南ツアーデザインセンター(三重県) |
| 第3回 | 認定特定非営利活動法人
霧多布湿原トラスト(北海道) | 第9回 | 針江生水の郷委員会(滋賀県) |
| 第4回 | 飯能市・飯能市エコツーリズム
推進協議会(埼玉県) | 第10回 | 小岩井農牧株式会社(岩手県) |
| 第5回 | 海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県) | 第11回 | 富士山登山学校ごうりき
(株式会社 合力)(山梨県) |
| 第6回 | 特定非営利活動法人
黒潮実感センター(高知県) | 第12回 | 谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県) |

審査委員長 講評

「第13回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村彰男(審査委員長)



第13回エコツーリズム大賞には50件の応募をいただき、その中から、大賞1件、優秀賞4件、特別賞4件の、計9件を選ばせていただきました。例年より、優秀賞が若干多く、特別賞の件数が少ない結果となりました。また組織形態としては、協議会や協会等の組織が4件、民間事業者が5件と、ほぼ半数ずつが選ばれる結果となっています。

今回は取組分野である、ガイド・プログラム提供、環境保全、地域貢献の、いずれかに特化して特徴的・先進的な取組を行っている申請よりも、全ての分野に配慮し相互に関連させながら総合的に取組まれている申請の方が目立っていたように思います。こうした点が審査結果にも反映されたと考えています。

また結果的にですが、今回の受賞者は地域のエコツーリズム推進に関わる組織づくりやエコツーリズム推進全体構想の立案に関与している団体が多く、そうした取組を通して、自身の活動も総合的なものになっていくと考えられます。各地で協議会の設置や全体構想立案に向けての取組みが徐々に増えて来ているようですので、今後に期待しています。

ただ、今回、残念だったことは、特別継続賞への申請がなかったことです。もちろん毎年、選定することは難しいのですが、各地でエコツーリズムへの取組みが進む中で、継続

や持続というキーワードがますます重要になってきています。その象徴が、特別継続賞であり、これまでの大賞受賞者には、「継続・持続」のノウハウを各地の取組みに伝える意味でも是非エントリーしていただきたいと考えています。

そのような中で、大賞を受賞された白神マタギ舎は、自然の様々な営みや、人と自然との豊かな共生の姿を、マタギ文化という視点を通して伝えるユニークな活動を長きにわたって継続してこられました。そして、オーダーメイドとも言うべき参加者に合わせたきめ細かなプログラムを提供されていること、また白神の自然環境のモニタリング調査や分析など調査研究を通して環境保全に貢献する取組も継続されており、地元西目屋村への貢献も併せ、総合的な取組を続けておられる点が評価されました。

また優秀賞、特別賞の受賞者も、各地域の実情に応じて様々な工夫や優れた活動を展開されており、各地でエコツーリズムに取組まれている方々に参考としていただける団体を選ぶことができたと考えております。

今回受賞された団体はもちろんのこと、応募された団体につきましても、これを契機に活動がさらに充実し、住民そして来訪者の双方にとって魅力的な地域づくりへと発展していくことを期待しています。

第13回エコツーリズム大賞の審査結果

募集期間 平成29年9月19日～11月17日
応募総数 50件
表彰式 平成30年2月21日



受賞者一覧



白神マタギ舎 (青森県)
白神とともに生きる

優秀賞

特定非営利活動法人

たてやま・海辺の鑑定団 (千葉県)

「海辺のエコツーリズム」実現を目指して！

くまの体験企画 (三重県)

熊野古道伊勢路を「面」として捉えたエコツアー

南丹市美山エコツーリズム推進協議会 (京都府)

美山の魅力を世界へ

～住民参加型エコツーリズムの実践～

阿蘇ジオパーク推進協議会 (熊本県)

2016 熊本地震から復興するジオパーク活動

特別賞

特定非営利活動法人 赤城自然塾 (群馬県)

関東平野の始まる赤城山 Nature Education Resort

上市町観光協会 (富山県)

霊峰剣岳の麓で出会える、自然の豊かな祈りの里

蒜山ツアーデスク (岡山県)

驚きと感動と発見の世界へあなたをご案内

串間エコツーリズム推進協議会 (宮崎県)

黒潮洗う草原と太陽が育む野生馬のまち

審査委員

(敬称略・50音順)

- 越智 良典** (一社) 日本旅行業協会理事・事務局長
海津 ゆりえ 文教大学国際学部国際観光学科 教授
菅野 正洋 (公財) 日本交通公社 観光文化研究部主任研究員
楠部 真也 (株) ピッキオ 取締役
桜井 義維英 NPO 法人 国際自然大学校理事
審査委員長
下村 彰男 東京大学大学院農学生命科学研究科教授
高梨 洋一郎 元サイバー大学 客員教授
西山 徳明 北海道大学観光学高等研究センター センター長
山田 桂一郎 JTIC.SWISS 代表

受賞団体の紹介



白神マタギ舎

白神とともに生きる

青森県中津軽郡
西目屋村

個人(エコツアー事業者)

応募の概要

白神において持続可能な資源利用をしてきたマタギの文化を残し、伝えることを目的として2000年に設立。ガイドは地元のマタギ、白神研究者など長年白神に深くかかわってきたメンバーで、解説内容は世界遺産白神の自然、そこで暮らしてきたマタギの文化を伝えることが主である。地元の宿泊とセットのトレッキングツアーの他、マタギの暮らしについての座学、山菜やキノコを採って食すなどの現地体験のツアーを行っている。

講評

「マタギ文化を残し、伝える」ことを通して、自然の様々な営みや、人と自然との豊かな共生の姿を伝承することを目的とした活動を長きにわたって継続していること、また、世界遺産白神山地における調査研究活動、モニタリング等による長年の環境保全への取組と貢献が評価された。オリジナルツアーのプログラムでは、旅行者へのきめ細かい対応と配慮による的確なガイディングによって、白神山地の自然とそこに暮らしてきたマタギの文化を存分に体感することができ、質の高いエコツアーを提供し続けている。



受賞の言葉

白神マタギ舎は2000年の発足以来、青森県西目屋村を拠点に、エコツアーガイドグループとして活動してきました。この間、ガイド活動だけでなく、大学などの研究者の調査補助、環境省、国土交通省、青森県などの委嘱による各種調査、巡視、会議等への参加やデータの提供など、白神山地の生態系の保全のお手伝いをしてまいりました。

これらの活動は、60年あまりにわたってマタギとして生活してきた当代表・工藤光治と後継者工藤茂樹の、何百年にもわたる伝統を背景とした経験、知識、感性に支えられてきました。このことは、伝統的なマタギの活動が生計維持の道でなくなった今日、マタギにとっても、消失のおそれのあるマタギ文化の存続・伝承にとっても、よいことであったと思います。ことに、エコツアーのお客さまに、マタギ文化の考え方を、実体験として知っていただくことは、大変意義のあることだと感じています。

今回、私たちのこういった考え方をお認めいただき、エコツーリズム大賞を頂戴いたしました。私たちに大きな勇気を与えていただいたこととなります。深く御礼申し上げますとともに、今後ますます白神のエコツアーを充実させていこうと考えております。



組織の沿革

代表者名：工藤光治
設立：2000年
所属人数：8人
主な活動地域：白神山地

連絡先

〒036-1411
青森県中津軽郡西目屋村田代字神田 104-35
Tel: 0172-85-2628
e-mail: kokko@cup.ocn.ne.jp
Web: <http://matagisha.sakura.ne.jp/>

優秀賞

特定非営利活動法人 たてやま・海辺の鑑定団 「海辺のエコツーリズム」実現を 目指して！

千葉県館山市

応募部門：
個人 (NPO 法人)

応募の概要

沖ノ島を中心に身近で貴重な自然環境を通じて様々なエコツアーを毎年展開している。特別賞受賞後の取り組みとしては、2013年より、官民連携の「沖ノ島について考える検討会議」に参画。アマモ場再生などの「実践活動」、自然環境保全の「普及啓発」を行い、持続可能な沖ノ島の「仕組みづくり」によるエコツーリズムの実現を目指している。



講評

2004年設立以来、館山市沖ノ島を拠点として継続的な活動が行われている。地域の他のNPO団体等と幅広く連携しながら、修学旅行や体験学習などの受け入れを行うことで、地域に経済効果をもたらしている。また、地元の漁協と協働し、水産資源の保全と価値の向上にも努めており、地域全体への貢献度が高いことが評価された。

組織の沿革

代表者名：竹内聖一
設立：2004年
所属人数：25人
主な活動地域：
千葉県館山市沖ノ島
および南房総エリア

連絡先

〒294-0034 千葉県館山市沼979
Tel: 0470-24-7088
e-mail: info@umikan.jp
Web: http://www.umikan.jp/

優秀賞

くまの体験企画 熊野古道伊勢路を「面」として 捉えたエコツアー

三重県尾鷲市

応募部門：
個人 (エコツアー事業者)

応募の概要

熊野古道伊勢路の地域課題の解決を目的に、エコツーリズムを推進するコミュニティビジネスとして事業を行う。三重県東紀州地域の熊野古道及び周辺地域において、個人のニーズに対応したツアーや、宿泊施設や地域団体と連携したツアー、地域資源の発掘保全ツアー等のほか、旅行会社への企画協力やガイド派遣などを行っている。民間事業者の強みを活かし、行政区分を越えて熊野地域をつなぐとともに、来訪者と住民をつなぐ活動を行っている。



講評

巡礼の道「熊野古道」で育まれた「歴史・文化」や「精神性」を伝えるガイドング、質の高いプログラムの提供、コミュニティビジネスとしてのエコツーリズムの推進が高く評価された。特に、地域振興の取り組みとして、熊野古道と町なかをつなぐコースをツアーとして定着させることで、旅行者の滞在時間を延ばし、住民との接点や交流人口を増加させるための工夫を行っている。

組織の沿革

代表者名：内山裕紀子
設立：2008年
所属人数：20人
主な活動地域：
三重県東紀州地域

連絡先

〒519-3612 三重県尾鷲市林町9-28
Tel: 090-7865-0771
e-mail: mie@kumanokodo.info
HP: http://kumanokodo.info/

優秀賞

なんたん

南丹市美山エコツーリズム推進協議会

美山の魅力を世界へ

～住民参加型エコツーリズムの実践～

京都府南丹市

応募部門：団体（協議会）

応募の概要

2010年の設立以降、美山町の美しい自然と伝統的な暮らしの保全及び活用に取り組んでいる。近年増加傾向にある外国人観光客向けのコンセプトブックの作成や英語Webサイトの整備を通して、美山の豊かな環境と暮らしの魅力を発信している。同時に訪日外国人旅行者受入れのためのセミナーやガイド養成講座を開き、地域全体のレベルアップを行っている。昨年より「第一回美山エコツーリズム大会in京都」を実施し、エコツアーの磨き上げ、ガイド同士の交流、エコツアーガイドの登録制度を推進している。

講評

設立以来、既存のエコツアーの質の向上や、新たな資源の掘り起こしによるツアー企画、既存のガイド組織との連携など、エコツーリズムというテーマのもと、協議会が核となり地域全体で資源の保全と利用を図ってきたことが高く評価された。また、全体構想の立案にも中心的役割を果たすなど、エコツーリズムの計画的な推進に大きく貢献している。その他、外国人観光客向けの情報発信の強化など、インバウンドの取り組みについても評価された。



組織の沿革

代表者名：中川幸雄
設立：2010年
所属人数：27人
主な活動地域：
京都府南丹市美山町

連絡先

〒601-0722
京都府南丹市美山町安掛下23
Tel: 0771-75-9030（水曜定休）
e-mail: info@miyamaeco.com
Web: http://miyamaeco.com

優秀賞

阿蘇ジオパーク推進協議会

2016 熊本地震から復興する ジオパーク活動

熊本県阿蘇市

応募部門：団体（協議会）

応募の概要

2014年9月に世界ジオパーク認定を受け、ジオツーリズム等による地域活性化に取り組んでいる。2016年4月に発生した熊本地震が、域内のほとんどのジオサイトに影響を与え、直接的被害や風評被害が生じたことにより、来訪者が激減した。この経験を活かした震災の語り部育成や、急増している外国人旅行者に対応するためのガイドのスキルアップ活動など、国立公園満喫プロジェクトと連携しながら世界水準の環境づくりに取り組んでいる。



講評

阿蘇神社内の施設をガイドステーションへと再構築し、来訪者とガイドの交流の場として活用している。熊本地震の遺構をめぐるツアーを通して、地震被害への理解を深める取り組みを行うとともに、大学と連携し、災害記録画像データベースを構築・運用し、ガイド活動や広報素材としての活用する取組を行う等、研究機関と連携した保全と活用の仕組みが評価された。

組織の沿革

代表者名：佐藤義興
設立：2009年
所属団体：35団体
主な活動地域：
阿蘇地域8市町村

連絡先

〒869-2232
熊本県阿蘇市赤水1930番地1
Tel: 0967-34-2089
e-mail: info@aso-geopark.jp
Web: http://www.aso-geopark.jp

特別賞

あかぎ
特定非営利活動法人 赤城自然塾
 関東平野の始まる赤城山
 Nature Education Resort

群馬県前橋市

応募部門：個人 (NPO 法人)

応募の概要

人が人を呼ぶ地域を目指し活動を行っている。2010年に設立し、前橋駅から赤城山ビジターセンターの間を運行している定期バスの車内において、ガイドボランティアの有志による赤城山の歴史、自然などのガイド等を実施している。2015年には赤城自然塾の拡大発展形態として、エコツーリズムを通じて赤城山周辺の地域振興や、自然環境、歴史文化遺産の保全とそれらを推進する次世代人材の育成に向けた赤城山エコツーリズム推進協議会の発足に貢献した。



講評

「赤城山エコツーリズム推進協議会」において、中心的な役割を果たしている。さらに、「赤城山の自然保護活動推進協議会」を発足させ、地域内での協働による環境保全に積極的に取り組み、地域全体の活動を促進させている点が評価された。地域における保全活動だけではなく、前橋駅と赤城山ビジターセンターを運行するバスの中では、ガイドが旅行者を楽しませるための工夫も行っており、地域の魅力を高める活動も評価された。

組織の沿革

代表者名：天田清之助
 設立：2010年
 所属人数：115人
 主な活動地域：赤城山
 周辺地域

連絡先

〒371-0201 群馬県前橋市粕川町
 中之沢7番地サンデンフォレスト内
 Tel: 027-212-2611
 e-mail: akagi-shizen@ae.co.jp
 Web: <http://www.akagi-trip.com/>

特別賞

かみいち
上市町観光協会
 霊峰劔岳の麓で出会える、
 自然の豊かな祈りの里

富山県中新川郡
上市町

応募部門：団体 (地域団体)

応募の概要

劔岳という象徴的な存在と、山岳信仰の文化や急流河川・森林・里山の自然環境資源を関連づけた「物語」を意識したツアーを提供。小学校への出前授業や大学生のインターシップ受け入れによる教育との連携や、特色あるツアー造成、地域住民によるイベントの実行委員会への参画等を通して、積極的にエコツーリズムの推進に取り組んでいる。



講評

地域の文化や自然環境を背景にした独自の「物語」に特別な価値づけを行い、その「物語」に基づいて造成された多彩なツアープログラムを旅行者に提供している。観光地ではない地域におけるエコツーリズムの推進により、住民による地域の価値の再認識や、それに基づくプログラムの開発、保全が進んでいる点が評価された。

組織の沿革

代表者名：坂井穂悦
 設立：1987年
 所属人数：106人
 主な活動地域：
 上市町全域

連絡先

〒930-0314
 富山県中新川郡上市町若杉3番地3 (上市駅構内)
 Tel: 076-472-1515
 e-mail: info@kamiichi.jp
 Web: <http://kamiitabi.net/>
<https://www.facebook.com/kamiichikanko>

特別賞

ひるぜん 蒜山ツアーデスク

驚きと感動と発見の世界へあなたをご案内

岡山県真庭市

応募部門：
個人（エコツアー事業者）

応募の概要

主たる活動場所である「山乗川源流部」では、巨木や希少植物の場所等を正確に把握し、感動を与えるツアーを展開している。さらに、エコツーリズムの重要性を提唱し、宿泊施設との協働ツアーに取り組むほか、希少動植物や湿原の保護活動にも積極的に取り組むなど、地域全体の活性化に尽力している。



講評

日常的なフィールド調査に基づいたツアーの実施や、安全管理、希少動植物の保全等が高く評価された。また、滞在時間を延ばすための工夫として、夜にしかできないツアープログラムの造成を行うことで、新しい価値の創造にも取り組んでいる。

組織の沿革

代表者名：金山幸二
設立：2011年7月
所属人数：25人
主な活動地域：
岡山県真庭市蒜山

連絡先

〒717-0513 岡山県真庭市蒜山下和1397
Tel: 0867-67-2148
e-mail: aki-haru@cronos.ocn.ne.jp
Web: <http://hiruzenyamaasobi.okoshiyasu.com/>

特別賞

くしま 串間エコツーリズム推進協議会

黒潮洗う草原と太陽が育む野生馬のまち

宮崎県串間市

応募部門：団体（協議会）

応募の概要

協議会は、野生馬が棲む都井岬や日本霊長類学発祥の地・幸島などの自然資源や生活文化を保護活用して、その恩恵を次世代にも送り届けることを目的とし、人とのふれあいと体験によって、地域の自然と文化を楽しみ、体感する旅をテーマにエコツアーを実施している。感動体験で串間ファンを育て、誰もが住みたいと思えるような地域づくりをすすめることで、地域活性化に取り組んでいる。



講評

「串間エコツーリズム推進全体構想」を策定し、環境保全の視点に立ったツアーの実施方法について、ルールや仕組みが整えられている点が評価された。協議会では、独自にエコツアーメニューの認定・登録制度を設け、地場産品の利活用や地域住民の参画など、地域活性化に貢献するエコツアーを催行するための体制が作られている。

組織の沿革

代表者名：田上俊光
設立：2014年
所属人数：25人
主な活動地域：
串間市全域

連絡先

〒888-8555 宮崎県串間市西方5550
串間エコツーリズム推進協議会事務局
Tel: 0987-72-1111 (串間市役所エコツーリズム推進室)
e-mail: ecokushima@yahoo.co.jp
Web: <http://www.city.kushima.lg.jp/enjoy/>

エコツーリズム大賞 過去の受賞団体

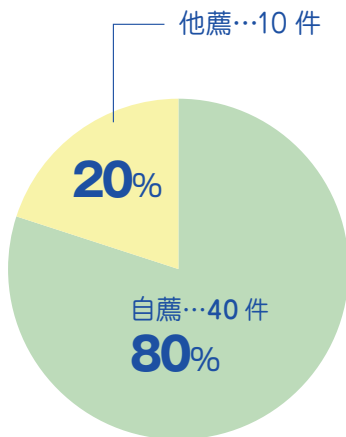
第1回 2005 (年度)	大賞	ピッキオ(長野県)
	優秀賞	小笠原ホエールウォッチング協会(東京都)
		株式会社 南信州観光公社(長野県)
		ホールアース自然学校(静岡県)
		やんばる自然塾(沖縄県)
	特別賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
		財団法人 キープ協会(山梨県)
紀南ツアーデザインセンター(三重県)		
特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)		
有限会社 屋久島野外活動総合センター(鹿児島県)		
仲間川地区保全利用協定締結事業者(沖縄県)		
第2回 2006	大賞	ホールアース自然学校(静岡県)
	優秀賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
		白神マタギ舎(青森県)
		特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)
	特別賞	特定非営利活動法人 たてやま・海辺の鑑定団(千葉県)
		加賀市観光協会・加賀市観光情報センター(石川県)
		富士山登山学校ごうりき(山梨県)
		特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
		松本電気鉄道株式会社・濃飛乗合自動車株式会社(長野県・岐阜県)
		海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
認定特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)		
第3回 2007	大賞	いしかわ自然学校(石川県)
	優秀賞	海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
		させぼパール・シー株式会社(長崎県)
		体験村・たのはた推進協議会(岩手県)
	特別賞	二戸市楽しく美しいまちづくり推進委員会(岩手県)
		裏磐梯エコツーリズム協会(福島県)
		有限会社 リポーン<エコツーリズム・ネットワーク>(東京都)
		高山市乗鞍山嶺五色ヶ原の森(岐阜県)
		針江生水の郷委員会(滋賀県)
		飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県)
越後田舎体験推進協議会(新潟県)		
第4回 2008	大賞	飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県)
	優秀賞	特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
		財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター(熊本県)
	特別賞	秋田白神ガイド協会(秋田県)
		稲取温泉観光合同会社(静岡県)
		マキノ里湖体験ツアー協議会(滋賀県)
		大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会(鳥取県)
		秋吉台地域エコツーリズム協会(山口県)
特定非営利活動法人 おちかアイランドツーリズム協会(長崎県)		
第5回 2009	大賞	海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
	優秀賞	富士山登山学校ごうりき(山梨県)
		紀南ツアーデザインセンター(三重県)
		特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館(高知県)
	特別賞	知床オプショナルツアーSOT!(北海道)
		ゆっくりずむ北海道(北海道)
		株式会社 JTB 関東(埼玉県)
		特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部(東京都)
有限会社 地域観光プロデュースセンター(滋賀県)		
エコガイドカフェ(エコツアーラボ合同会社)(沖縄県)		
第6回 2010	大賞	特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)
	優秀賞	有限会社 リポーン(東京都)
		宮津市エコツーリズム推進協議会(京都府)
	特別賞	尾瀬認定ガイド協議会(群馬県)
		社団法人 若狭三方五湖観光協会(福井県)
		特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金(長野県)
特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校(宮崎県)		

第7回 2011	大賞	特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
	優秀賞	てしかがえこまち推進協議会(北海道)
		二戸市宝を生かした事業実行委員会(岩手県)
		針江生水の郷委員会(滋賀県)
	特別賞	小岩井農牧 株式会社(岩手県)
株式会社 エコロの森(富山県)		
飛騨里山サイクリング(株式会社美ら地球)(岐阜県)		
特定非営利活動法人 桜島ミュージアム(鹿児島県)		
第8回 2012	大賞	紀南ツアーデザインセンター(三重県)
	優秀賞	小岩井農牧 株式会社(岩手県)
		特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部(東京都)
	特別賞	高山市乗鞍山嶺五色ヶ原の森(岐阜県)
		日高地域活性化協議会(北海道)
		谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県)
特定非営利活動法人 赤目四十八滝渓谷保勝会(三重県)		
湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部(滋賀県)		
社団法人 西土佐環境・文化センター四万十楽舎(高知県)		
第9回 2013	大賞	針江生水の郷委員会(滋賀県)
	優秀賞	株式会社 知床ネイチャーオフィス(北海道)
		特定非営利活動法人 飛騨小坂200滝(岐阜県)
		特定非営利活動法人 桜島ミュージアム(鹿児島県)
	特別賞	特定非営利活動法人 えがおつなげて(山梨県)
特定非営利活動法人 八ヶ岳スーパートレイルクラブ(長野県)		
鳥羽市エコツーリズム推進協議会(三重県)		
特定非営利活動法人 おおぞみまるごとツーリズム(沖縄県)		
第10回 2014	大賞	小岩井農牧株式会社(岩手県)
	優秀賞	谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県)
		株式会社 エコロの森(富山県)
	特別賞	SATOYAMA EXPERIENCE(株式会社 美ら地球)(岐阜県)
		特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会(福島県)
		特定非営利活動法人 越後妻有里山協働機構(新潟県)
		有限会社 森の国(鳥取県)
一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会(広島県)		
阿蘇ジオパーク推進協議会(熊本県)		
第11回 2015	大賞	富士山登山学校ごうりき(株式会社 合力)(山梨県)
	優秀賞	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部(滋賀県)
		一般社団法人 座間味村ホエールウォッチング協会(沖縄県)
	特別賞	上市町(富山県)
		おんたけアドベンチャー(長野県)
		くまの体験企画(三重県)
		宮津世屋エコツーリズムガイドの会(京都府)
		愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会(愛媛県)
エコツアーふくみみ(沖縄県)		
特別継続賞	海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)	
第12回 2016	大賞	谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県)
	優秀賞	ゆっくりずむ北海道(北海道)
		鳥羽市エコツーリズム推進協議会(三重県)
	特別賞	NPO 法人 奥入瀬自然観光資源研究会(青森県)
		カシオペア連邦局おもてなし課(岩手県)
		特定非営利活動法人 片品・山と森の学校(群馬県)
		あてま森と水辺の教室ポポラ(新潟県)
		室戸市観光ガイドの会(高知県)
やっつらう de 高島(長崎県)		
屋久島ネイチャー企画 FIELD(鹿児島県)		
特別継続賞	飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県)	

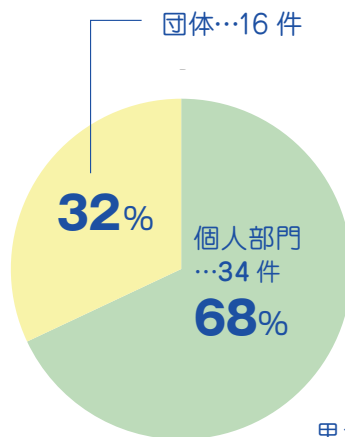
'17 ECOTOURISM

第13回エコツーリズム大賞へ応募があった50件を、「応募主体」「地域特性」「取組分野」「対象主体類型」ごとに集計。さらに「全国応募状況」として都道府県ごとにまとめた。

応募主体

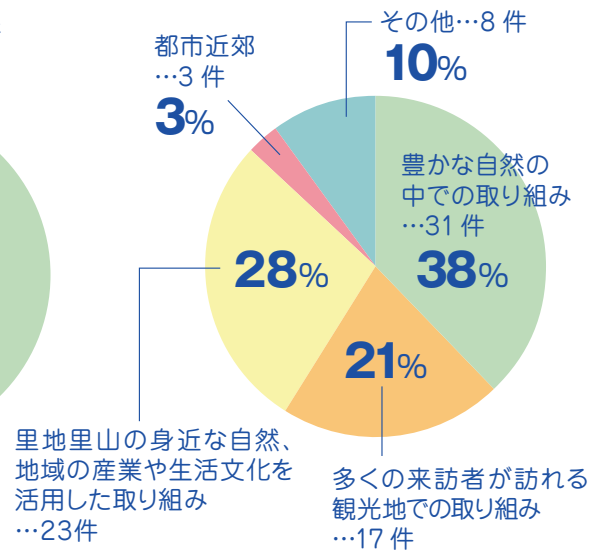


応募部門

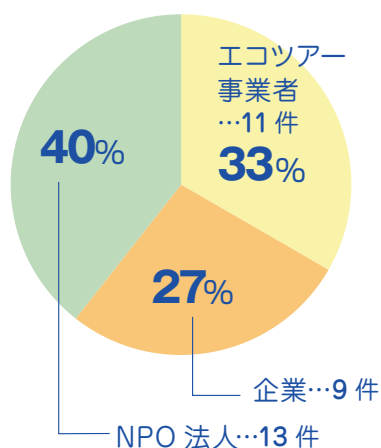


地域特性

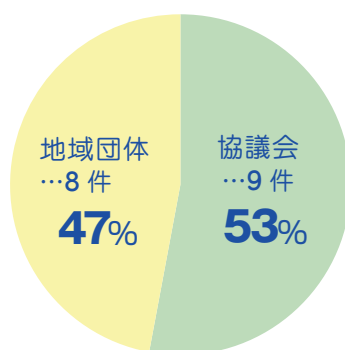
※複数回答



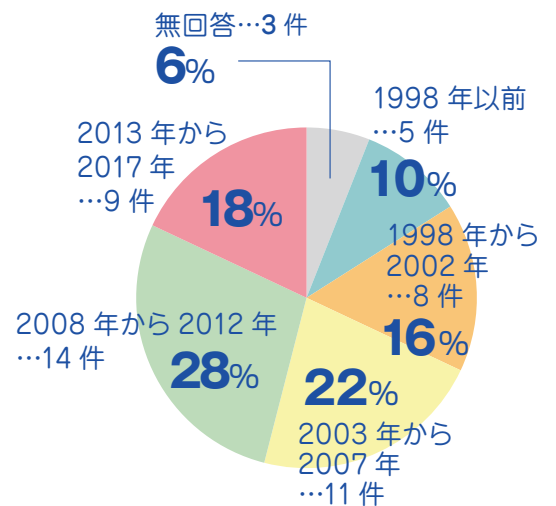
個人部門 主体類型



団体部門 主体類型

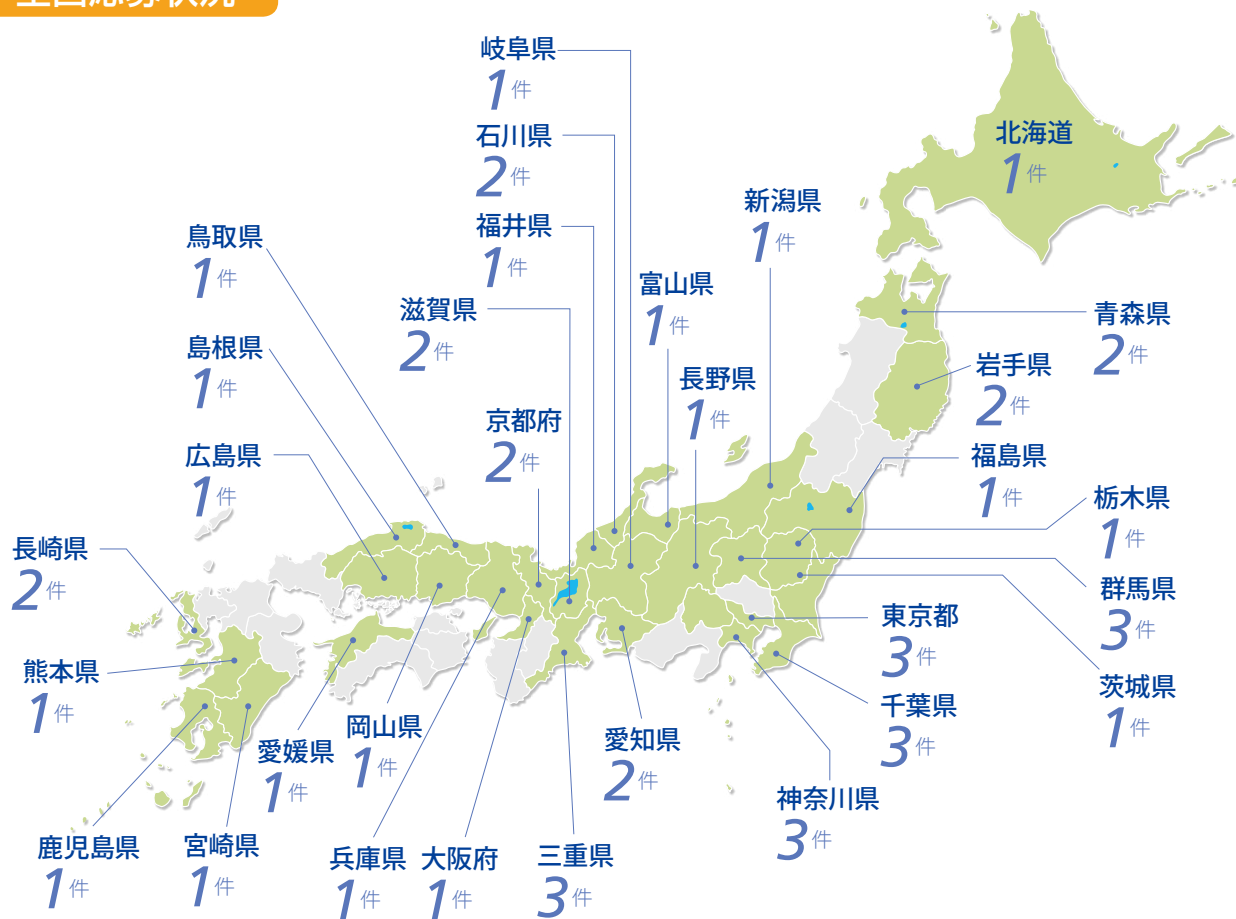


設立年



AWARD 応募状況

全国応募状況



応募総数
50件



「エコツーリズム大賞」募集について（例年の募集概要）

ECOTOURISM AWARD

募集対象

●エコツーリズムへの優れた取組を募集します。

取組の例

- ・環境への配慮や環境保全への貢献
- ・エコツアー等の情報提供の取組
- ・環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・地域資源を活かしたエコツアーの実施
- ・地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践



表彰

●大賞（1点）、優秀賞と特別賞、特別継続賞各数点。

*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

応募資格

1. エコツーリズムに取り組む団体（事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等）
2. 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
3. 自薦、他薦の別を問いません。
4. 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

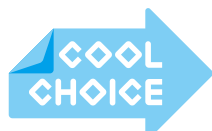
募集時期

例年夏頃。詳細は環境省ホームページ、及び NPO 法人日本エコツーリズム協会ホームページでご案内しています。

(<http://www.env.go.jp/>) (<http://www.ecotourism.gr.jp/>)

審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。決定後受賞者に通知し、表彰式を行ないます。



未来のために、いま選ぼう。

発行日：2018年3月
発行：環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
TEL：03-5521-8271 FAX：03-3595-1716
<http://www.env.go.jp/>

制作協力：NPO 法人 日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)

